

しょう ざん やき
昌 山 焼

●所在地／下吾川 ●所有者／個人

郡中・灘町の陶芸家、友澤荒一郎(昌山)が創作した楽焼系の工芸品である。昌山焼として数十点の作品が友澤家で保管されており、一代窯であるが、郡中の焼き物の系譜を伝えている。

荒一郎の生業は漆塗りであったが、昭和3年(1928)頃から江山焼に魅せられ、窯元楨鹿蔵をたずねるが、窯場には入れてもらえなかったという。その後、自らの焼き物を創作し、昭和10年(1935)頃から昌山焼の名が知られるようになった。梨本宮が来松のとき目にとまり、宮内庁より特別に買い上げられた。

